

技術研究組合国際廃炉研究開発機構（略称：IRID）の概要

設立年月日：平成25年8月1日

理事長：山名 元（国立大学法人京都大学原子炉実験所教授）

組合員：（独）日本原子力研究開発機構、（独）産業技術総合研究所、(株)東芝、日立GEニュークリア・エナジー(株)、三菱重工業(株)、北海道電力(株)、東北電力(株)、東京電力(株)、中部電力(株)、北陸電力(株)、関西電力(株)、中国電力(株)、四国電力(株)、九州電力(株)、日本原子力発電(株)、電源開発(株)、日本原燃(株)
(15企業、2独法)

事業費：平成25年度107億円

事業の概要：廃止措置に関する研究開発、廃止措置に関する国際・国内関係機関との協力の推進、研究開発に関する人材育成

○ 組合設立の目的

「将来の廃炉技術の基盤強化を視野に、当面の緊急課題である福島第一原子力発電所の廃炉に向けた技術の研究開発に全力を尽くす」ことが基本的な役割。

国際廃炉研究開発機構の役割のイメージ

＜廃炉技術の基盤強化を視野に、 当面の緊急課題である福島第一原発の廃炉に向けた取組みに注力＞

